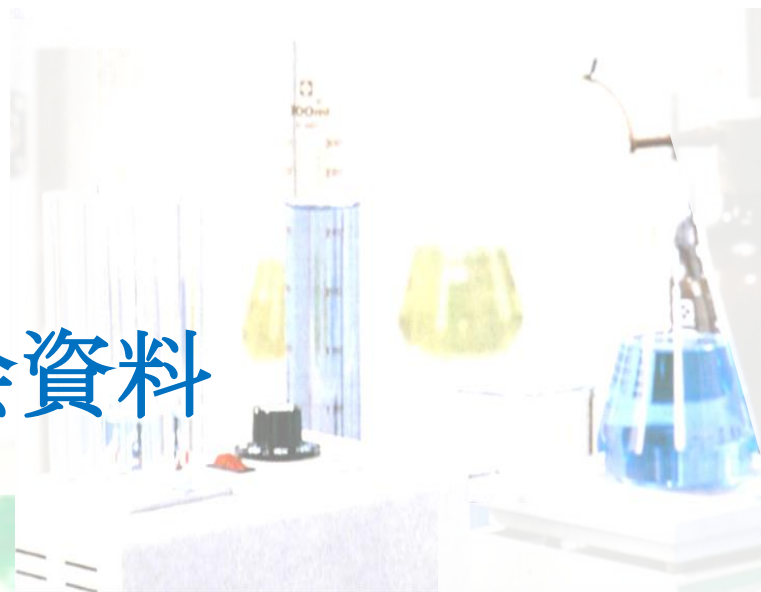




2016年3月期 決算説明会資料



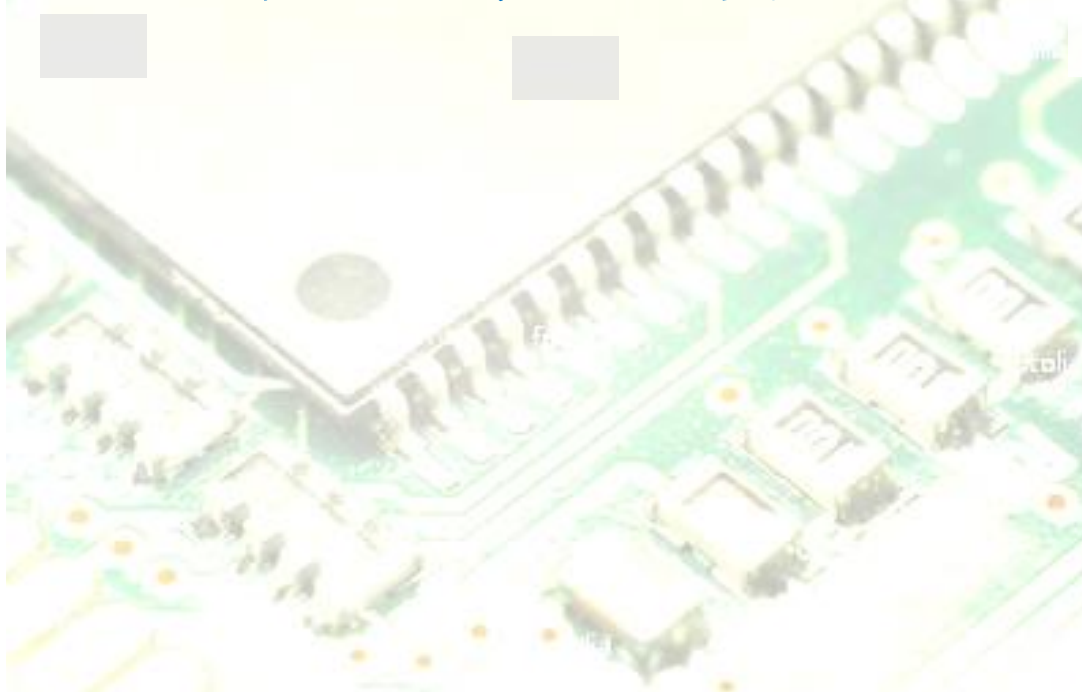
2016年6月6日（大阪）

2016年6月7日（東京）

石原ケミカル株式会社

Ishihara Chemical Company, Ltd.

（東証二部 4462）



目次

1. 2016年3月期 決算総括 (代表取締役社長 時澤 元一)
2. 中長期的な経営方針について (代表取締役社長 時澤 元一)
3. 2016年3月期 セグメント別の営業状況
地域別販売の状況 (専務取締役 酒井 保幸)
4. 2017年3月期 業績予想 (専務取締役 酒井 保幸)

参 考 資 料

- 展示会出展のご報告
- 2016年3月期 決算短信

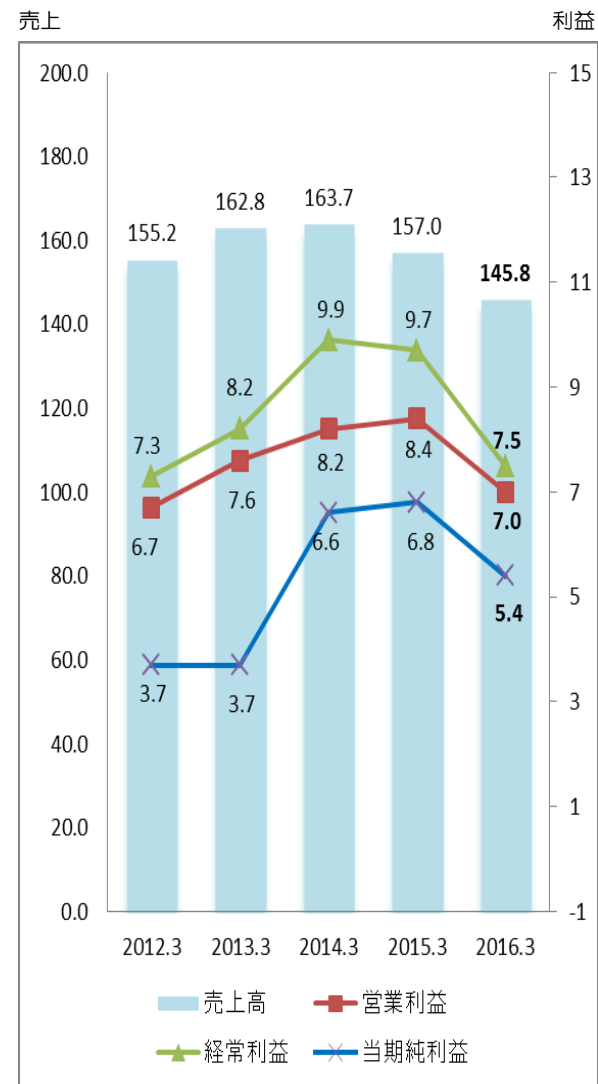
本資料のうち、業績予想等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算出しており、判断や仮定に内在する不確実性および今後の事業運営や内外の状況変化により、実際の業績等が予想値と大きく異なる可能性があります。

1.2016年3月期 決算総括

売上・利益について

	2016年3月期		前年		対前年 増減率	増減額	(単位:億円)		
	実績	構成比	実績	構成比			2016年3月期		対公表値 増減率
							公表値*	構成比	
売上高	145.8	100%	157.0	100.0%	△7.1%	△11.2	150.3	100.0%	△3.0%
売上原価	105.6	72.4%	115.9	73.8%	△8.9%	△10.3			
販管費	33.1	22.7%	32.6	20.8%	1.5%	0.5			
営業利益	7.0	4.9%	8.4	5.4%	△17.0%	△1.4	7.1	4.7%	△1.4%
経常利益	7.5	5.1%	9.7	6.2%	△22.6%	△2.2	7.8	5.2%	△3.8%
当期純利益	5.4	3.7%	6.8	4.3%	△20.8%	△1.4	5.4	3.6%	0.0%
							*2015年11月公表		

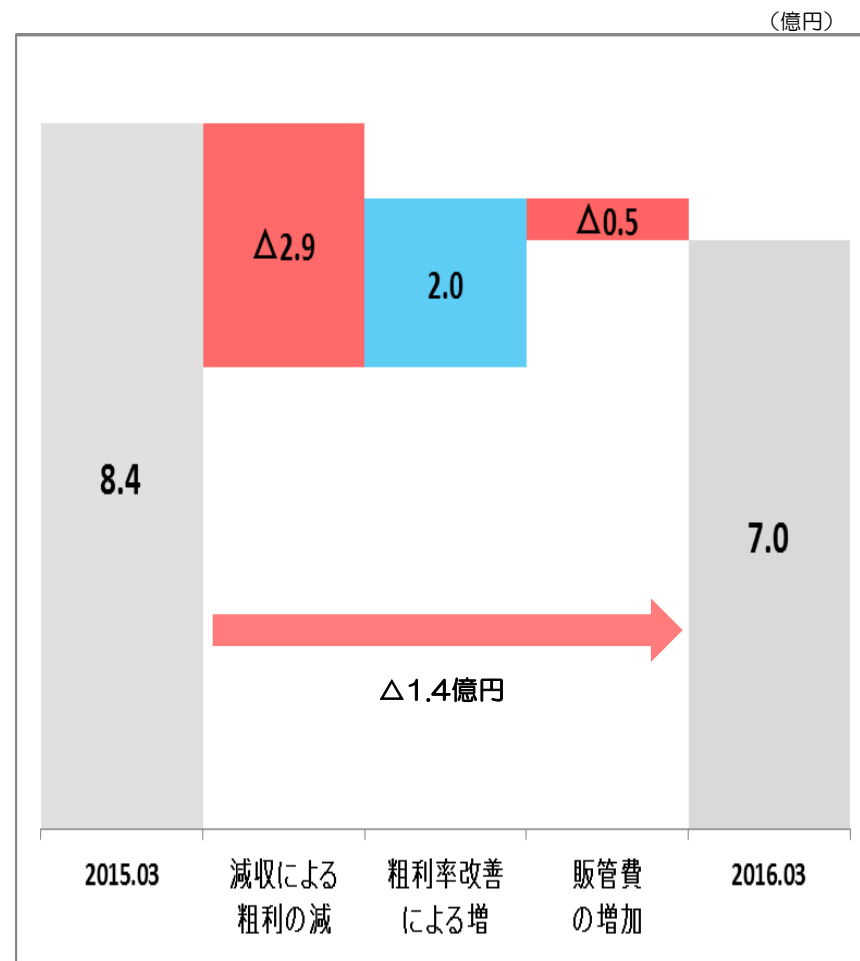
- **売上高**：金属表面処理剤及び機器等セグメントにおけるウエハーバンプめっき液の落ち込みが大きく、自動車用化学製品セグメントは前年を上回ったものの前年比△7.1%の減収
 - **営業利益**：利益率の改善があったが、販管費が増加したこともあり前年比△17.0%の減益
 - **経常利益**：前年度の営業外収益の発生額が大きく、前年比△22.6%の減益
 - **当期純利益**：前年比△20.8%の減益
- 設備投資：313百万円 減価償却費：433百万円 研究開発費：1,012百万円



売上高



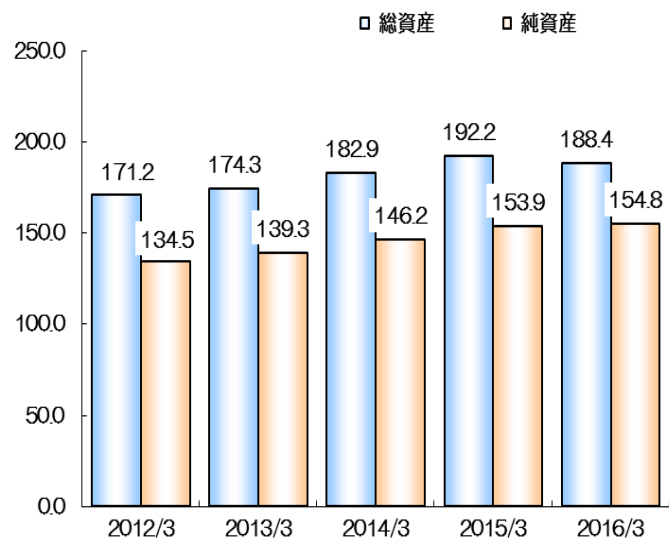
営業利益



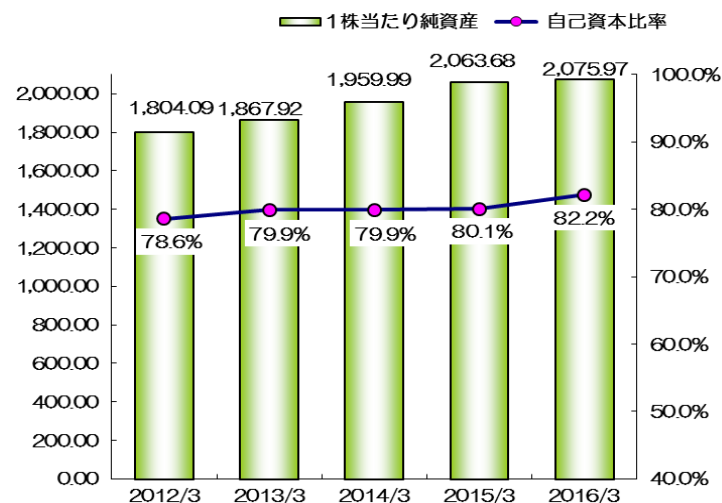
主要経営指標の推移

主要経営指標推移		2012/3	2013/3	2014/3	2015/3	2016/3
総資産【Total Assets】	(百万円)	17,122	17,430	18,292	19,222	18,849
純資産【Shareholders Equity】	(百万円)	13,458	13,934	14,621	15,395	15,486
1株当たり純資産【BPS】	(円)	1,804.09	1,867.92	1,959.99	2,063.68	2,075.97
自己資本比率【Equity Ratio】	(%)	78.6%	79.9%	79.9%	80.1%	82.2%
自己資本利益率【Return on Equity】	(%)	2.8%	2.7%	4.7%	4.6%	3.5%
当期純利益【Net Income】	(百万円)	373	370	688	685	542
1株当たり当期純利益【ESP】	(円)	50.09	49.72	89.64	91.84	72.69
一株当たり配当額(年間)	(円)	30.00	30.00	30.00	30.00	32.00

(億円)



(円)



トピックス (2016年3月期)

拠 点 整 備

中国上海市に販売子会社（石原化美（上海）商貿有限公司）を設立
資本金10,000,000RMB 社員数10名 めっき薬品、自動車用化学製品等の販売

株 主 還 元

株主優待制度の一部追加 (平成28年3月31日現在の株主に対して)
100株以上500株未満保有の株主にQUOカード1,000円分贈呈



株主還元・内部留保の考え方

2016年3月期の配当予定

安定配当を基本としつつも、業績、経営環境、財務状況を勘案し、中間配当16円、期末配当16円の年間配当金32円を予定

株 主 還 元 の 基 本 方 針

業績に裏付けられた安定的で継続的な配当を行うことを基本としつつ、業績に応じた増配を検討するなど弾力的な還元策をはかっていく方針であります。

配当に加えて自己株式取得も機動的に組み合わせて行うことにより、実質的な株主還元の一層の強化をはかります。

内 部 留 保

健全な経営基盤を維持するため内部留保の充実をはかるとともに、内部留保資金の活用については、研究開発や新事業、新技術開発など将来の企業価値を高めるための投資に優先して充当してまいります。

2. 中長期的な経営方針

中期経営方針（会社が目指すビジョン）

「成長路線の創造」

当社は、自己開発、商品開発、市場開発の「三つの開発」を企業理念とし、ニッチ市場といわれる事業分野で高い市場占有率を維持し、基幹となる3つの分野で4つの事業を展開することを基本とし、世界に通用する製品、技術、サービスを創造・駆使し、グローバル化に対応できる企業をめざし、更なる成長を遂げ、次のステージへの前進を目指す。

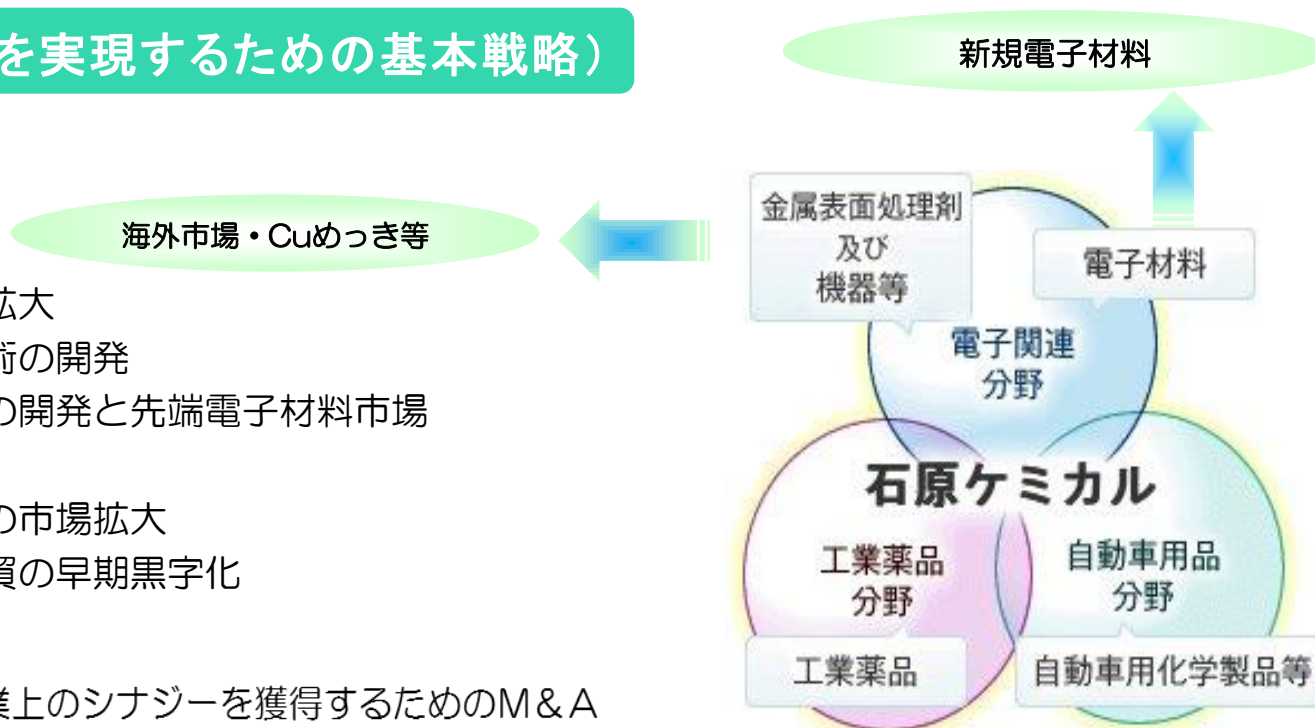
中期経営戦略（ビジョンを実現するための基本戦略）

重点テーマ

- ① 新規電子材料の市場拡大
- ② 金属ナノ粒子量産技術の開発
- ③ 伝導性銅ナノインクの開発と先端電子材料市場への参入
- ④ 回路形成銅メッキ液の市場拡大
- ⑤ 石原化美（上海）商貿の早期黒字化

挑戦テーマ

当社の成長に資する事業上のシナジーを獲得するためのM&A

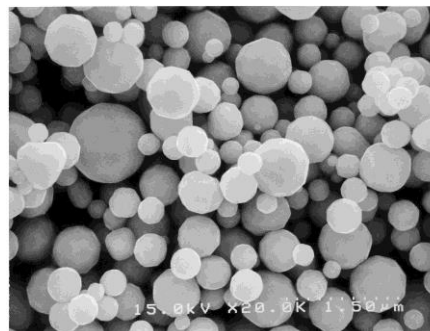


＜電子関連分野＞
電子材料セグメント

(マコール・ベスペル)



(ニッケル超微粉)



- ① 新規電子材料の市場拡大
- ② 金属ナノ粒子量産技術の開発
- ③ 伝導性銅ナノインクの開発と先端電子材料市場への参入

様々なアプリケーションにおいて
配線や電極として利用が期待されています

想定されるアプリケーション



LED



タッチパネル



FPC



RFID



太陽電池

金属表面处理剤セグメント

(めっき液： 電子部品や半導体を電気回路に接続（搭載）する目的に使用)

電子製品

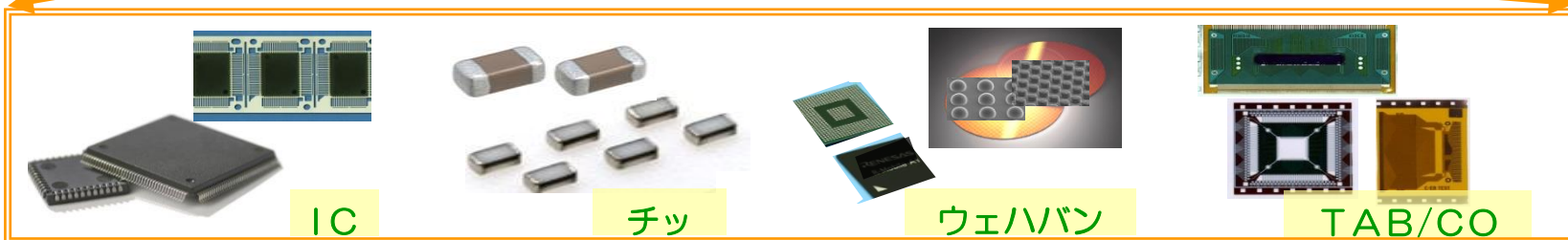
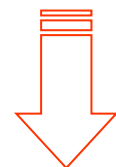


基板



銅めっき液

電子部品



めっき液

鉛フリーめっき液

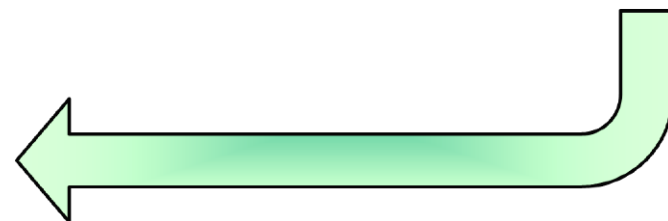
中性スズめっき液

バンプ用めっき液

無電解スズめっき液

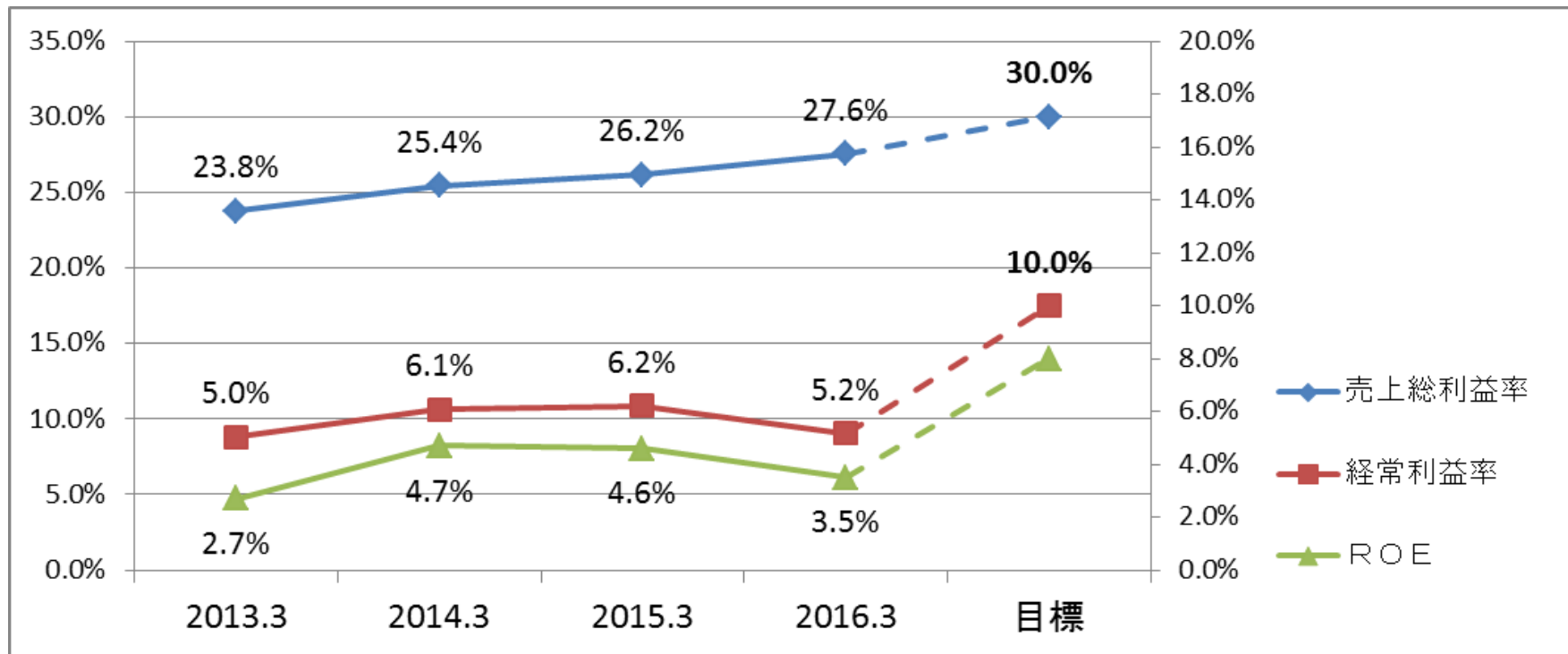
④ 回路形成銅メッキ液の市場拡大

⑤ 石原化美（上海）商貿の早期黒字化



目標とする経営指標

- ① 売上総利益率30%以上を目指します。
- ② 経常利益率10%以上を目指します。
- ③ 利益額の伸長により、ROE(自己資本利益率)の向上をはかります。



財 務 方 針

① 資金（キャッシュ・フロー）の配分に関する方針

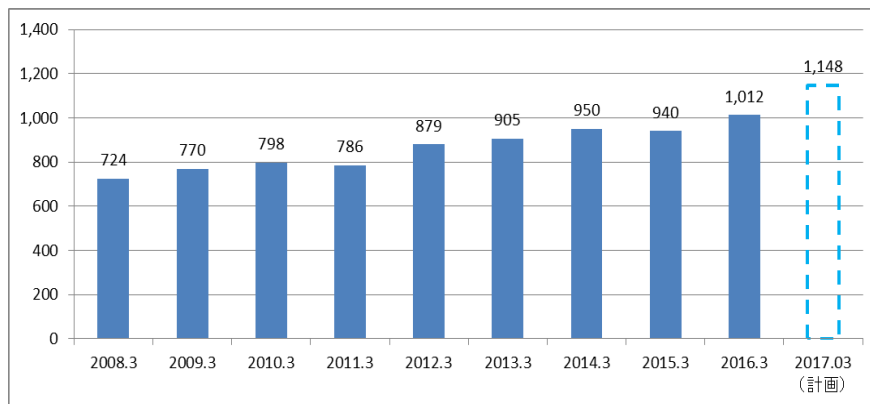
- (1) 研究開発費や海外展開など当社の成長性に資する新規事業投資を積極的に行う。
- (2) 研究開発能力や営業効率等の向上のため、設備投資や人的資源などを含む既存事業投資を新規事業投資とバランス良く行う。
- (3) 利益配分に関する方針に基づき、安定的で継続的な配当を行うことを基本としつつ、業績に応じた弾力的な株主還元策をはかってゆく。

② 内部留保に関する方針

財務の安全性に留意しながら、研究開発投資やM&A投資などの成長投資に優先的に内部留保資金活用してゆく。

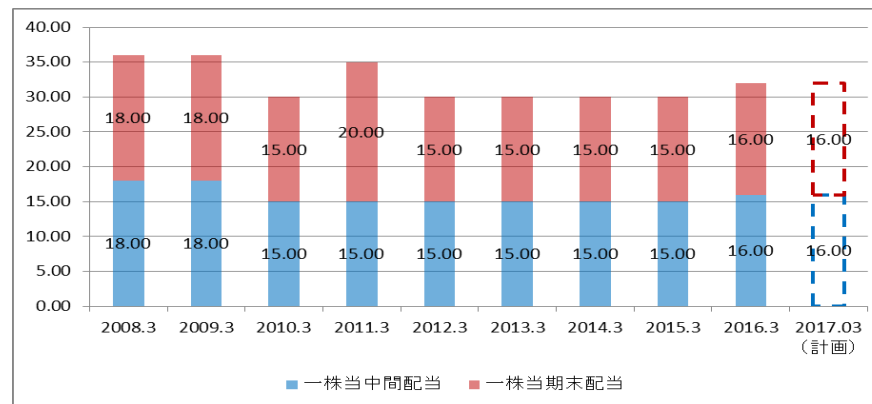
研究開発投資 推移

(単位：百万円)



配当金推移

(単位：円)



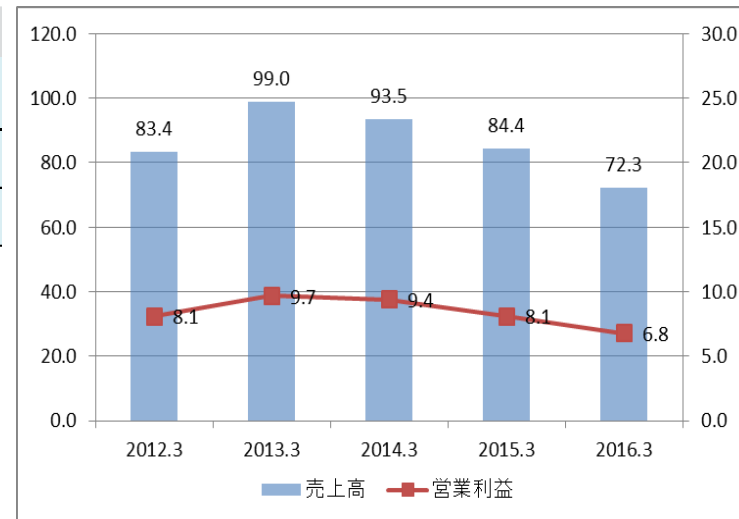
積極的な成長投資により収益を伸ばすことに加え株主還元策の強化により、継続的な企業価値の向上を目指す。

3. セグメント別の営業の状況

金属表面処理剤及び機器等		(単位:億円)	
	2016年3月期 実績	前年 実績	前年比
売上高	72.3	84.4	85.7%
営業利益	6.8	8.1	84.0%

・電子部品用めっき液：一般電子部品用めっき液は国内、海外市場とも低調に推移、また、先端電子部品用ウエハーバンプめっき液は、台湾、韓国大口ユーザーでの薬剤の使用量削減や大幅な値引要請が引き続き、前年を大きく下回る。

・管理装置及び試薬：プリント基板市場及びタッチパネル関連市場で、装置需要が伸び、前年を上回る。

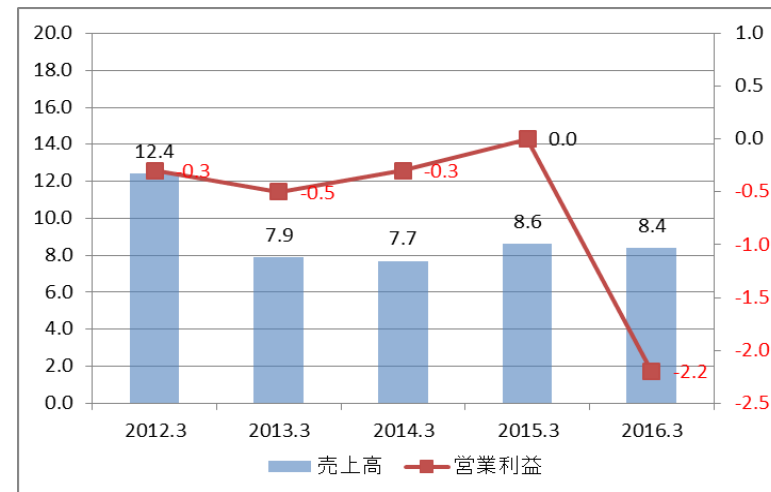


電子材料		(単位:億円)	
	2016年3月期 実績	前年 実績	前年比
売上高	8.4	8.6	97.7%
営業利益	△ 2.2	△ 0.0	-

・ニッケル超微粉：ユーザーの生産状況により、前年を若干下回る。

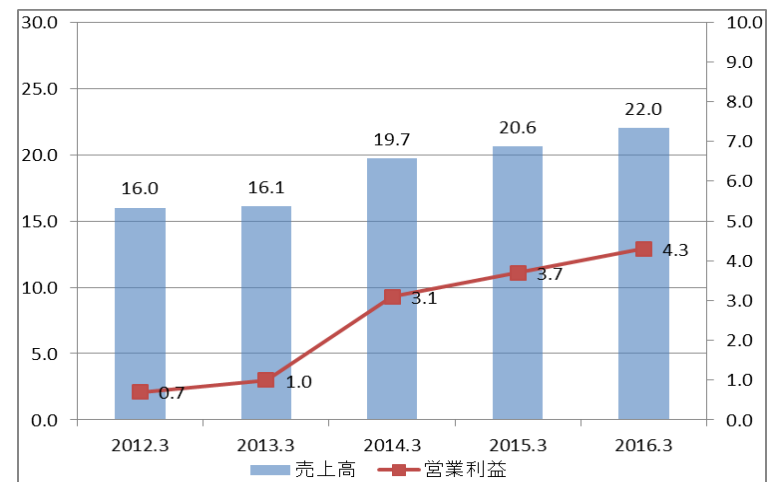
・機能材料加工品：期前半は半導体製造装置や検査機器向けの部品需要が好調に推移したものの、期後半より需要が低迷

・セグメント利益は、当期より新規電子材料の開発費を先行して負担していることもあり、大幅な営業赤字



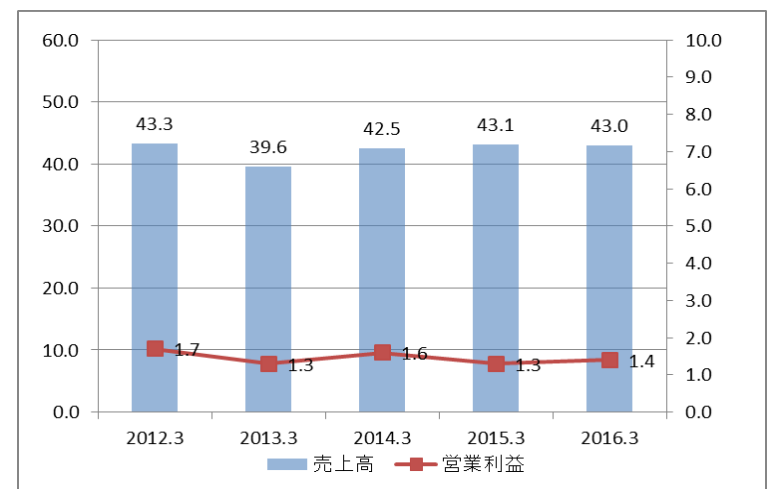
自動車用化学製品		(単位:億円)	
	2016年3月期 実績	前年 実績	前年比
売上高	22.0	20.6	106.8%
営業利益	4.3	3.7	116.2%

- ・引き続きエアコン洗浄剤が好調に推移
- ・昨年度販売した「FMCマイスターコンパウンドシステム」等の拡販に努め、補修用コンパウンドも好調推移



工業薬品		(単位:億円)	
	2016年3月期 実績	前年 実績	前年比
売上高	43.0	43.1	99.8%
営業利益	1.4	1.3	107.7%

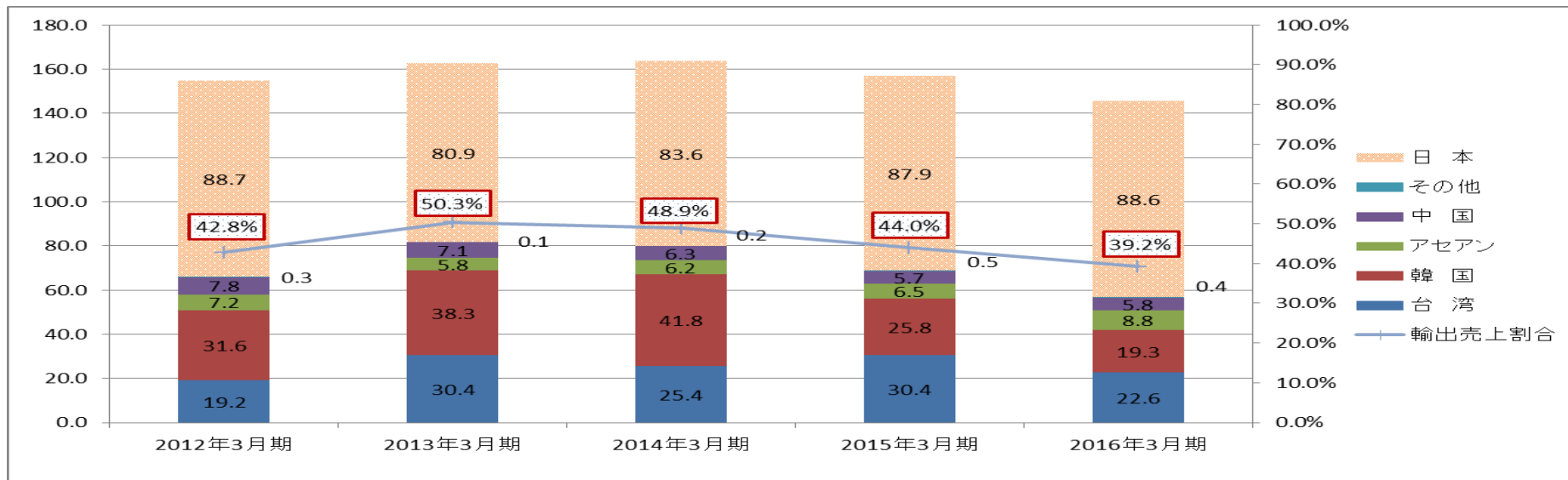
- ・高級鋼板向け特殊薬剤が好調推移
- ・鉄鋼向けの基礎薬剤の苛性ソーダが、販売単価の下落及び納入数量の減少により前年を下回る。



地域別販売の状況

輸出売上高推移

(単位:億円)



	2012年3月期	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期
台湾	19.2	30.4	25.4	30.4	22.6
韓国	31.6	38.3	41.8	25.8	19.3
アセアン	7.2	5.8	6.2	6.5	8.8
中国	7.8	7.1	6.3	5.7	5.8
その他	0.3	0.1	0.2	0.5	0.4
輸出売上計	66.4	81.9	80.0	69.0	57.2
日本	88.7	80.9	83.6	87.9	88.6
売上総計	155.2	162.8	163.7	157.0	145.8

アセアン・・・シンガポール タイ
フィリピン 他

	2015年3月	2016年3月
1USD(計画)	100.00	115.00
1USD(実績)	110.91	120.03

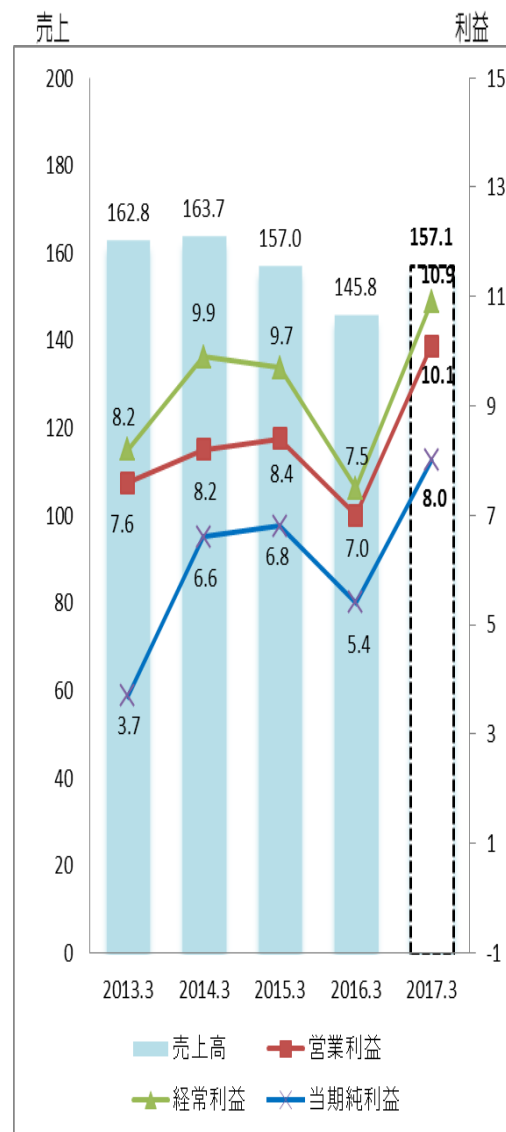
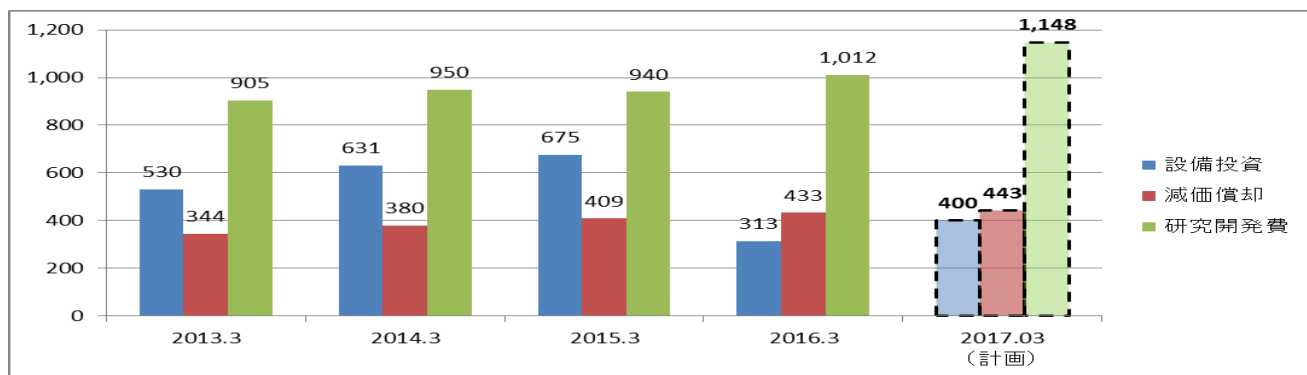
4. 2017年3月期の業績予想

(2016年4月1日～2017年3月31日)

	計画(2017年3月期)			前年			年間 増減率	年間 増減額
	上期	下期	年間	上期	下期	年間		
	売上高	77.9	79.2	157.1	73.1	72.7		
営業利益	5.1	5.0	10.1	3.4	3.5	7.0	44.3%	3.1
経常利益	5.5	5.4	10.9	3.7	3.8	7.5	45.3%	3.4
当期純利益	4.0	4.0	8.0	2.5	2.8	5.4	48.1%	2.6
1株当たり当期純利益	53.62円		107.24	34.8		72.69円		
1株当たり配当額	16.00円		32.00円	16.00円		32.00円		

・高利益率製品の販売により収益力を高める。また、金属ナノ粒子等新規電子材料の事業化を促進する。

・設備投資:400百万円 減価償却費:443百万円 研究開発費: 1,148百万円



セグメントごとの取り組み

● 金属表面処理剤及び機器

- ・海外市場の開拓をさらに進める。
- ・高付加価値薬品を積極的に市場展開する。
- ・ユーザーへの迅速な対応及び技術対応の向上等により競合他社との差別化をはかる。
- ・化成処理液自動管理装置等は、新型管理装置「メティスS」を海外のプリン基板市場を中心に投入し、拡販をはかる。

● 電子材料

- ・当社の強みである加工品の短納期、高精度の特色を生かし、その他の需要及び新規市場を積極的に開拓する。
- ・新規電子材料を市場に導入し売上の拡大をはかる。

● 自動車用化学製品等

- ・エアコンフィルター交換作業に合わせエアコン洗浄を同時施工するビジネスを継続して提案し、カーディーラーでの定着をはかる。
- ・補修用コンパウンド製品（FMC8000シリーズ、FMCマイスターシリーズ）を中心に補修用製品も拡販する。

● 工業薬品

- ・大手鉄鋼メーカーを中心に基礎薬剤のシェア維持・拡大をはかるとともに新規テーマの発掘を進める。
- ・環境や石油化学分野において、新規商材開発と新規市場開発を促進する。

- ▶ この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点において当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。しかしながら現実には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。
- ▶ 当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。本資料記載の業績見通しのみで全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願い致します。
- ▶ なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送等をおこなわれないようお願い致します。

ありがとうございました

2016年6月

石原ケミカル株式会社

(東証二部 4462)

URL: <http://www.unicon.co.jp>

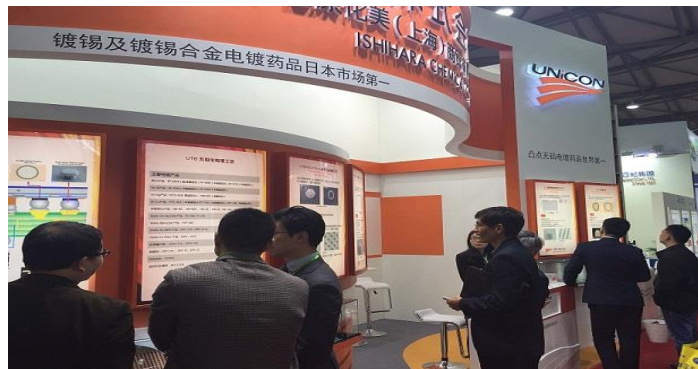
参 考 資 料

- 展示会出展のご報告
- 平成28年3月期 決算短信

展示会出展のご報告

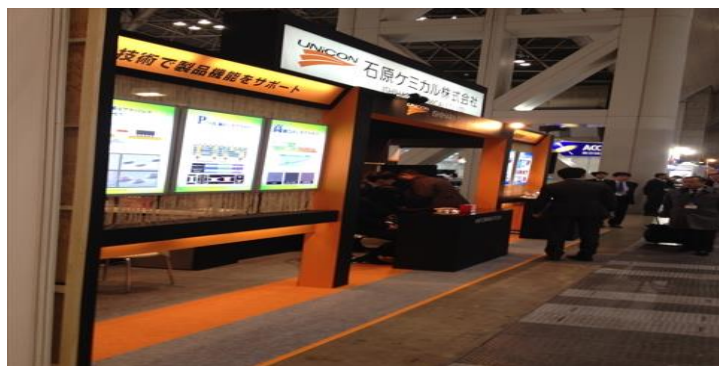
海外

SEMICON China2016



上海の会場にブースを開設 2016/3

第17回 半導体パッケージング技術展



東京ビッグサイト 2016/1

国内

JPCA SHOW2015



東京ビッグサイト 2015/6

SURTECH2016 表面技術要素展



東京ビッグサイト 2016/1